

「攻めのIT経営調査2019」について

2018年12月
攻めのIT経営事務局

1. 「攻めのIT経営調査2019」概要

調査対象	東京証券取引所の内国上場会社 3,606社 (一部、二部、マザーズ、JASDAQ)
調査実施期間	2018年12月12日(火) 開始 2019年1月18日(金) 終了 ※18:00まで
調査方法	<ul style="list-style-type: none">● WEBアンケートでの回答(12月4日郵送) 各社の「IR担当」宛にID/PWを送付済み ログインページ：https://rsch.jp/eqt5/?seme2019 選択式項目と記述式項目で構成 <ul style="list-style-type: none">✓ 選択式項目はWEB上での回答✓ 記述式項目は記入フォーマットのアップロード

ID/PWの再発行依頼

事務局宛にメールにてご連絡をお願いいたします。 mngita@juas.or.jp

- ・ 標題：【攻めのIT経営調査2019】ID/PW再発行依頼
- ・ 記載内容：企業名(お分かりになれば証券コードも)、ご担当部署名・氏名、連絡先電話番号

(参考)「攻めのIT経営銘柄2019」選定スケジュール

2018年

12月4日(火) 「攻めのIT経営調査2018」回答依頼、ID・パスワードの送付

12月12日(水) 「攻めのIT経営銘柄2019」説明会

「攻めのIT経営調査2019」アンケート回答受付開始



2019年

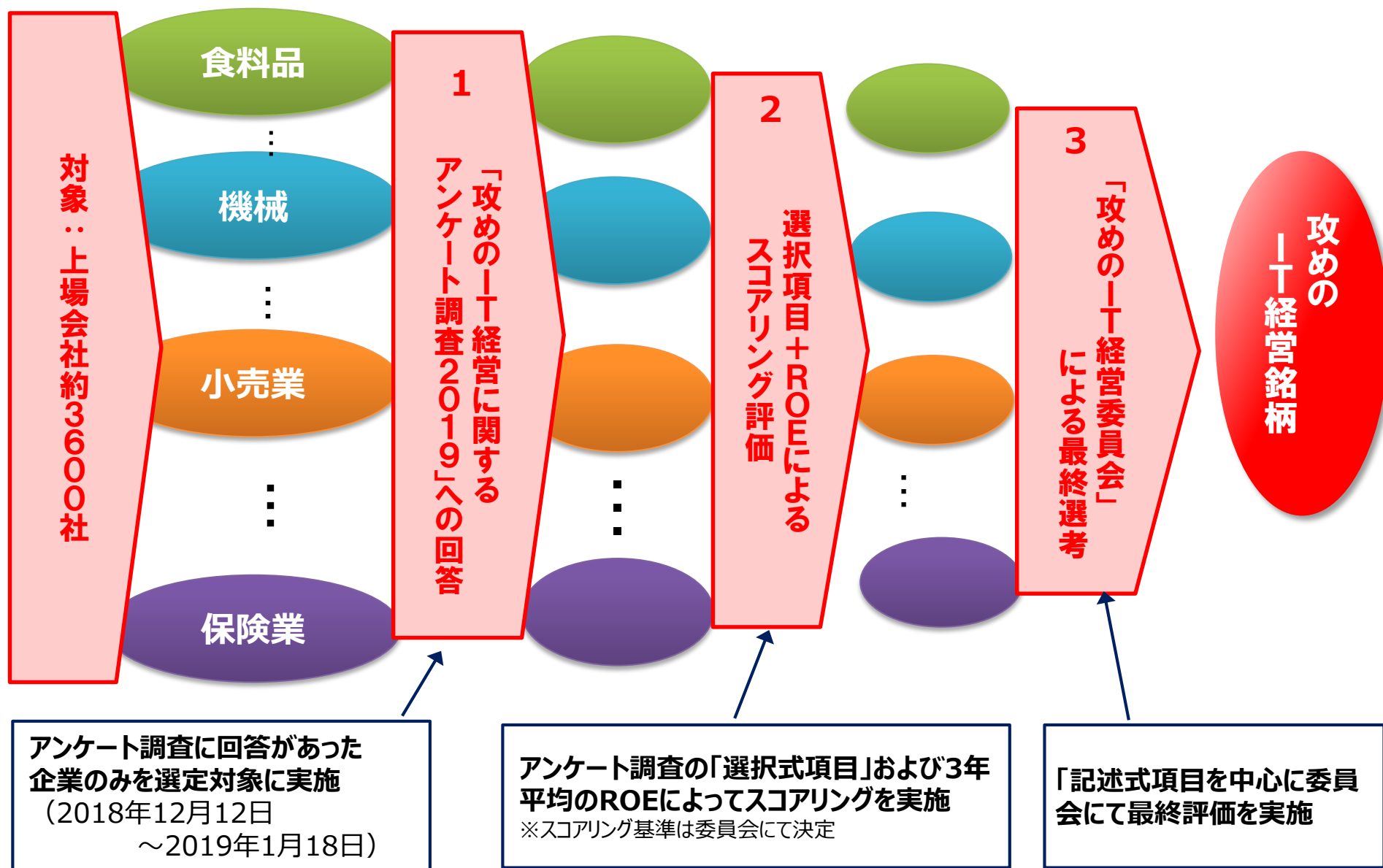
1月18日(金) アンケート回答受付終了(18:00厳守)



4月頃 「攻めのIT経営銘柄2019」等発表(予定)

発表以降 フィードバックを実施 (5月以降を予定)

参考 「攻めのIT経営銘柄2019」の選定プロセス



2. アンケート調査内容

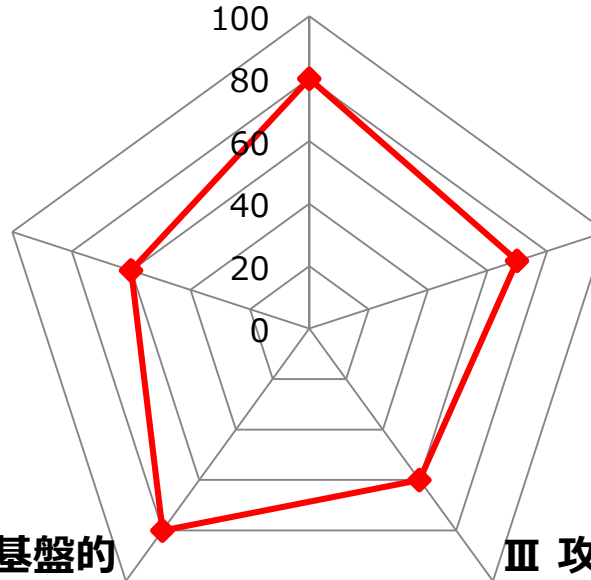
「企業価値向上のためのIT活用」への取組状況について、以下の5つの軸で設問を構成しています。※設問詳細は別資料を参照

I 経営方針・経営計画における 企業価値向上のためのIT活用

経営方針・経営計画における企業価値向上のIT活用、経営者・企業価値向上のためのIT活用に関する責任者について等

V 企業価値向上のためのIT活用 の評価

IT活用の評価



II 企業価値向上のための戦略 的IT活用

企業価値向上のためIT活用への取組状況とその効果等

IV 攻めのIT経営を支える基盤的 取組

情報セキュリティ、システム基盤整備

III 攻めのIT経営を推進するため の体制および人材

企業価値向上のためIT活用を実践するための組織体制・人材確保等

3. アンケートの構成

アンケート（WEBサイト）章立て		説明
企業情報・連絡先等の記入 ※必須回答です		企業情報および連絡先窓口の方のお名前、ご所属部署・お役職、連絡先について ✓ 各種連絡先、フィードバックをさせていただく先の送付先とさせていただきます。 ✓ 原則ご回答いただいた企業名をすべて公表させていただく予定です。公開を希望されない場合は、事務局宛にその旨をご連絡をお願いいたします。
選択式回答	I 経営方針・経営計画における企業価値向上のためのIT活用	選択式回答についてはWEBサイト上でご回答をお願いいたします。 ✓ あてはまる選択肢1つを選んでください。 ✓ 各項目の2つ目の質問（記述欄）は、銘柄選定における客観性を高めるため、1つ目の質問で回答いただいた内容の「エビデンスとなる情報」として可能な範囲でご記入をお願いするものです。 ※記述いただいた内容自体を評価する質問ではありませんが、攻めのIT経営銘柄等の選定・発表の際に確認させていただく可能性があります。（WEBサイト等で公開されている資料に関しては、掲載箇所が確認できるよう記述いただくと幸いです）
	II 企業価値向上のための戦略的IT活用	
	III 攻めのIT経営を推進するための体制および人材	
	IV 攻めのIT経営を支える基盤的取組	
	V 企業価値向上のためのIT活用の評価	
記述回答（アップロード画面）		記述回答のフォーマットおよび別添資料をアップロードするページです。

3. アンケートの構成 記述フォーマットのアップロードについて

項目	ご留意いただきたい点・手順など
Q41 記述回答 アップロード	<ul style="list-style-type: none">✓ アップロード可能なファイル形式はPDF形式のみとなっております。お手数おかけして恐縮ですが、記述フォーマットをPDFに変換いただき、アップロードをお願いいたします。なお、ファイル名の頭にID番号を加えてアップロードをお願いいたします。✓ PDF化していただいたフォーマットにパスワードを設定場合は、任意のパスワードをかけていただき、アップロード終了後に表示される画面「FQ42・連絡事項欄」で、パスワードをお知らせください。✓ 別添資料がある場合は、PDFに変換して1つのファイルにまとめ、ファイル名の頭にID番号を加えてアップロードをお願いいたします。その際、いずれの設問に対応しているかがわかるようにメモ記載をお願いいたします。✓ アップロード可能容量はフォーマット・別添資料いずれも6MBとなっております。これを超える容量のファイル送付をご希望の場合は、異なるアップロードサイトをご案内いたしますので、事務局メールアドレス宛にご連絡をお願いいたします。

4. アンケート回答サイトについて① ログイン画面

■ ログインページURL
<https://rsch.jp/eqt5/?seme2019>

■ 設問一覧

アンケートの全設問およびアンケート回答に際しての説明がダウンロード可能です。設問項目等をご確認いただいたうえで、ご回答をお願いいたします。

■ 記述フォーマット

記述項目については、記述フォーマットをダウンロードいただき、ご記入のうえ、所定画面でアップロードをお願いいたします。

経済産業省 「攻めのIT経営」に関するアンケート調査 2019
（「攻めのIT経営銘柄 2019」選定に関する調査）

「攻めのIT経営」に関するアンケート調査2019 ログイン

ID

パスワード

ID、パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックしてください。

ログイン

ご回答をお願いしたい期日 **2019年1月18日(金) 18:00**

ご回答にあたってご留意いただきたい点

- 本調査は、東京証券取引所の上場企業全社（一部、二部、マザーズ、JASDAQ）を対象に、企業の「攻めのIT経営」に対する取組みや成果についてお伺いし、その実態を把握することを目的としております。
- 本調査は、経済産業省の下、事務局である一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（JUAS）が実施しております。ご回答いただいた情報は、機密を厳守した上で、経済産業省、東京証券取引所、攻めのIT経営委員会が、集計・評価に利用いたします。個票データが会社名およびご回答者名とリンクして開示されることはありません。ただし、個人名が特定できない統計データとして「攻めのIT経営」普及啓発に資するレポート等に活用させていただきます。
- 原則ご回答いただいた会社名を全て公表させていただきます。もし、非公表を希望される場合には、事務局までお知らせください。
- アンケートの全設問およびアンケート回答ガイドは、下記よりダウンロード可能です。質問項目をご確認いただいたうえで、ご回答をお願いいたします。
 - [アンケート設問一覧](#)
 - [アンケート回答ガイド](#)
- アンケートは、選択式項目と記述項目に分かれております。
 - 選択式項目はWEBサイト上でご回答をお願いいたします。あてはまる選択肢1つを選んでください。
 - 記述項目については、フォーマットをダウンロードいただき、ご記入のうえ、指定の画面よりアップロードをお願いいたします。
 - [記述フォーマット](#)

■ 注意事項

回答時の注意事を記載しております。必ず確認いただき、回答をお願いいたします。

4. アンケート回答サイトについて② 管理画面（ログイン後）

「攻めのIT経営」に関するアンケート調査2019 管理画面

- 本アンケートは7つの章構成に分かれております。
- 管理画面から章ごとに回答をお願いいたします。また、管理画面から回答状況を確認することができます。
- 回答は途中で保留することが可能です。なお、ブラウザの「戻る」ボタンで戻られた場合はそれまでの回答が無効となりますのでご注意ください。
- I～V章はアンケート回答後、「回答内容一覧へ」ボタンを押すと、回答いただいた内容の一覧が表示されます。必要に応じてこのページを印刷、画面を保存するなどの対応をお願いいたします。
また、このページで「回答を完了する」ボタンを押すとその章は【回答済み】となり、**回答内容の変更・閲覧ができませんのでご注意ください。**
- 「企業情報・連絡先等の記入」「記入いただいたファイルのアップロード」画面では**確認ページが表示されませんので、ご注意ください。**
- ファイルのアップロードを含め、すべての章の回答が完了になると、自動的にアンケート終了となります。

■ 注意事項

操作上の注意事項を記載しておりますので、必ずご確認ください。

章名	回答状況
企業情報・連絡先等の記入	未回答
I 経営方針・経営計画における企業価値向上のためのIT活用	未回答
II 企業価値向上のための戦略的IT活用	未回答
III 攻めのIT経営を推進するための体制および人材	未回答
IV 攻めのIT経営を支える基盤的取組み	未回答
V 企業価値向上のためのIT活用の評価	未回答
記入いただいたファイルのアップロード	未回答

[アンケート設問一覧](#)
[記述フォーマット](#)
[アンケート回答ガイド](#)

■ 設問一覧

設問一覧（Excel版）、記述フォーマット、アンケート回答ガイドをダウンロード可能です。確認いただいたうえ、ご回答をお願いいたします。

4. アンケート回答サイトについて③ 回答画面

I 経営方針・経営計画における企業価値向上のためのIT活用

Q1 経営方針および経営計画における企業価値向上のためのIT活用

Q1-1

経営方針および経営計画(中期経営計画・統合報告書等)の中に、企業価値向上のためのIT活用(データとデジタル技術の活用)、特にデジタルトランスフォーメーション(以下「DX」とする)の推進についての方針・ビジョン等を掲げていますか。

- 1. DXの推進に関する方針等を掲げている
- 2. IT活用に関する方針は含まれているが、DXの推進に関しては触れていない
- 3. 含まれていない

Q1-2

Q1-1で1または2を選択された場合は回答してください。
その内容が記載された経営方針または経営計画の資料名をご記入ください(公開されている場合はURLもご記入ください)。

例:株主通信5ページに記載、またアニュアルレポート20ページに記載

Q1-3

Q1-1で1または2を選択された場合は回答してください。
その内容をIR資料等で公開していますか。

- 1. その内容をIR資料等ですでに社外に公開している
- 2. 社外への公開を準備中である
- 3. 公開する予定はない

■ 基本質問

■ エビデンス質問

■ IT-IRに関する質問 (一部の項目のみ)

4. アンケート回答サイトについて④ 回答確認画面

回答内容確認ページ		
Q38-1	設問文	最新のデジタル技術の活用などの実験的な投資について、定量的なリターンやその確度を求めすぎで挑戦を阻害しないような意思決定プロセスや判断基準がありますか。
	回答	(未回答)
Q38-2	設問文	Q38-1で1を選択された場合は回答してください。 そのルール・プロセスの名称または概要をご記入ください。 例「最新デジタル投資枠」を設け、定量的なリターン以外の観点(将来的なビジネスの価値など)も評価している
	回答	(未回答)
Q39-1	設問文	企業価値向上のための取り組みについて、ビジネスの環境変化に対応して、経営的観点・事業の状況・ITの活用状況を基に、評価をするルールがありますか。
	回答	(未回答)
Q39-2	設問文	Q39-1で1を選択された場合は回答してください。 ルールの名称をご記入ください。 例「ビジネス価値評価」一定期間の後、ビジネスがうまくいったかどうかで評価する仕組みを設けている。
	回答	(未回答)
Q40-1	設問文	経営者や事業関係者との情報共有・コミュニケーション向上のため、ITに関する報告書(IT版アナニュアルレポート・IT白書など)を作成していますか。またはアナニュアルレポートや統合報告書等でITに関する項目や記述箇所を設けていますか。
	回答	(未回答)
Q40-2	設問文	Q40-1で1を選択された場合は回答してください。 最新の報告書のタイトルと作成年月を記入してください。公開している場合はURLをご記入ください。 例●●ITアナニュアルレポート(2018年3月作成)、統合報告書●●ページ
	回答	(未回答)

ページを印刷する

※完了後は修正できません

必要に応じこのページを印刷して保存してください。

■ 注意事項

必要に応じ、印刷・保存してください。

4. アンケート回答サイトについて⑤ アップロード画面

Q41
攻めのIT経営(企業価値向上のためのIT活用)の取組み

Q41
企業価値向上目標のための「革新的な生産性向上」「既存ビジネスの拡充」「ビジネス革新」等の取組みについて、回答フォーマットにご記入いただき、アップロードしてください。
※これまで実施した取組、現在進行中の取組、あるいは今後実施する計画がある取組のいずれでも結構です。
※貴社にとってより重要性が高い取組み2つについてご記入ください。
※必要に応じてスライドまたは別添資料を補足してください。

次からはアップロード画面となります。
アップロード用ファイル(PDFのみ可能)をご用意ください。

※アップロード可能なファイル形式はPDF形式のみとなっております。お手数おかけして恐縮ですが、記述フォーマットをPDFに変換いただき、アップロードをお願いいたします。なお、ファイル名の頭にID番号を加えてアップロードしてください。

※別添資料がある場合は、PDFに変換して1つのファイルにまとめ、ファイル名の頭にID番号を加えてアップロードをお願いいたします。その際、いずれの設問に対応しているかがわかるようにメモ記載をお願いいたします。

※アップロード可能容量はフォーマット・別添資料いずれも6MBとなっております。これを超える容量のファイル送付をご希望の場合は、異なるアップロードサイトをご案内いたしますので、事務局メールアドレス宛にご連絡をお願いいたします。

※アップロード完了後は、再度アップロード画面に戻ることはできませんのでご注意ください。
(アップロード後に差替えを希望される場合は事務局メールアドレス宛にご連絡をお願いいたします)

次へ

注意事項を記載しておりますので、必ずご確認のうえ次にお進みください。



P1
ご記入いただいた「記述フォーマット」をPDFに変換いただき、アップロードしてください。
※ファイル容量は6MBまでです。
アップロードしない場合は、そのまま送信ボタンを押して下さい。

PDFを指定

P2
「別添資料」がある場合はこちらからアップロードしてください。※ファイル容量は6MBまでです。

PDFを指定

送信



FQ42
連絡事項欄
※アップロードしたファイルについて特記事項等ございましたらご記入ください。

1.

前のページに戻る

次へ

ファイルにパスワードを設定された場合はアップロードの後に表示される「FQ42・特記事項欄」でお知らせください。

5. 記述式回答の内容について

攻めのIT経営（企業価値向上のためのIT活用）の取組

- **企業価値向上目指すための取組**について、所定のフォーマットにご記入ください。
※これまで実施した取組、現在進行中の取組、あるいは今後実施する計画がある取組のいずれでも結構です。
※貴社にとってより重要性が高い取組2つについてご記入ください。※必要に応じてスライドまたは別添資料を補足してください。
- また、**間接的に攻めのIT経営、特にDXを推進する、あるいは促進する取組**についてご紹介ください。

企業価値向上のためのIT活用

1 IT活用による「革新的な生産性向上」の実現

業務そのものの自動化・不要化、働き方の変革等により、革新的な生産性の向上を目指す取組

IT（データとデジタル技術）の活用

2 IT活用による「既存ビジネスの拡充」の実現

顧客との関係の強化、新地域、新セグメントへの展開、商品・サービスの質改善等により、既存の事業ドメインを変えずに収益における成長を目指す取組

収益への貢献

3 IT活用による「ビジネス革新」の実現

これまでになかった価値を創出したり、これまで存在しなかった顧客・市場を創造することで、新たなビジネスモデルを実現したり、新たな事業分野へ進出する取組

将来性・発展性
SDGs等社会課題の解決に資する取組
関係するステークホルダーの範囲波及効果 レガシー刷新 等

DXの推進

【参考】SDGsの17のゴール

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための**17のゴール**・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

（詳細）<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



企業価値向上のための取組において、SDGsの17のゴールの達成に資する内容が含まれる場合、加点要素として評価します。

(参考) 攻めのIT経営銘柄2019における「DXグランプリ (仮称) 」

- 「攻めのIT経営銘柄2019」では企業の競争力強化に資するデジタルトランスフォーメーション (DX) に向けた取組を後押しするため、DX推進ベストプラクティス企業として「**DXグランプリ (仮称)** 」の選定・公表を予定しております。
- Q41でご記入いただいた取組は、「DXグランプリ (仮称) 」の選定における基礎資料としても使用予定です。また、**DXの推進に積極的に取り組む企業として紹介**させていただく可能性がございます。
※紹介させていただく場合は、必ず事前に確認の連絡をいたします。

【本アンケートにおける用語の説明】

デジタルトランスフォーメーション (DX) :

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データやデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。
(経済産業省「DX推進ガイドライン」より)

攻めのIT経営（企業価値向上のためのIT活用） 記述内容1/2

企業価値向上のための取組1-1

企業名	企業名（上場名）	ID	回答ID
-----	----------	----	------

取組タイトル	取組タイトルを記入	状況	現時点の状況	■計画中 □実行中
企業価値向上 （攻めのIT経営）テーマ	該当するものをチェック <input type="checkbox"/> 革新的な生産性向上 <input type="checkbox"/> 既存ビジネスの拡充 <input checked="" type="checkbox"/> ビジネス革新	該当するSDGs番号 ※該当するものがある場合は2 ページを参照して番号を記入	該当するものがある れば番号を記入	
関連するDXの要素 （変革の対象）※複数可	<input type="checkbox"/> 製品・サービスの変革 <input type="checkbox"/> ビジネスモデルの変革 <input type="checkbox"/> 業務プロセスの変革 <input checked="" type="checkbox"/> 組織の変革 <input type="checkbox"/> 人事・制度の変革 <input checked="" type="checkbox"/> 企業文化・風土の変革 <input type="checkbox"/> その他（ ）	該当するものを チェック		
取組概要	取組概要（200字程度）を記入			

背景と目的

背景となる 経営・事業環境	背景となる環境変化や問題意識等を簡単に記入
目的 事業の目標	事業全体としての目標を記入

プロジェクト体制・責任（リーダー）

- 責任者・組織体制等

責任者の立場や体制図を記入

攻めのIT経営（企業価値向上のためのIT活用） 記述内容2/2

企業価値向上のための取組1-2

企業名	企業名（上場名）	ID	回答ID
-----	----------	----	------

取組タイトル	取組タイトル（1ページ目と同じもの）
--------	--------------------

企業価値向上の取組詳細 ※必要に応じて、画像／スライド／別添資料等を補足してください。

- 実現した（したい）内容、対象、採用しているデジタル技術等

攻めのIT経営（企業価値向上のためのIT活用）に関する具体的な取組内容を具体的にご記入ください。
画像等を加えていただいたり、スライド・付属資料を追加いただいたりしても結構です。

KPI/KGI/考えられる効果

定量的・定性的に目標としている内容、想定している効果

将来的な成長への寄与

※可能な範囲でご記入ください。

間接的に攻めのIT経営、特にDXを推進する取組 記述内容

【任意】攻めのIT経営を推進する取組

企業名		ID	
-----	--	----	--

間接的に攻めのIT経営、特にDXを推進する取組について、ご記入ください。いつでも結構です。複数ご紹介いただける場合はシートをコピーしてご利用ください。

タイトル	取組タイトルを記入	状況	■計画中 □実行中	
関連するDXの要素 (変革の対象) ※複数可	<input type="checkbox"/> 製品・サービスの変革 <input type="checkbox"/> 人事・制度の変革	<input type="checkbox"/> ビジネスモデルの変革 <input type="checkbox"/> 企業文化・風土の変革	<input type="checkbox"/> 業務プロセスの変革 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 組織の変革

該当するものをチェック

- 環境整備（組織、人材、評価の仕組み等）、DX推進の基盤となる情報システムの構築など、自由に記入してください。必要に応じて補足資料を添付してください。

(記載の一例)

● 環境整備（組織、人材、評価の仕組み）

(観点の例)

- ✓ 各事業部門において新たな挑戦を積極的に行っていくマインドセットが醸成されるような仕組みの構築
- ✓ 各事業部門におけるデータやデジタル技術の活用の取組を推進・サポートに必要な体制の構築
- ✓ DXの実行のために必要な人材の育成・確保（社外からの人材獲得や社外との連携含む）に向けた取組 など

● DX推進の基盤となる情報システム構築に向けた取組

(観点の例)

- ✓ ITシステムが事業部門ごとに個別最適となることを回避し、全社最適となるよう、複雑化・ブラックボックス化しないための必要なガバナンスを確立しているか
- ✓ IT資産の仕分けやどのようなITシステムに移行するかのプランニングをどのように行なっているか
- ✓ 協調領域を見極め、企業の枠を超えた共通プラットフォームを利用する等の戦略的なリソース配分を図っているか
- ✓ 業務の簡素化や標準化を行なうことで、標準パッケージのカスタマイズを必要最低限のものとし、システムのレガシー化を回避するとともに、スピーディな変化に対応できるようにしているか など

※上記に限らず、貴社の取組を自由にご記入ください。

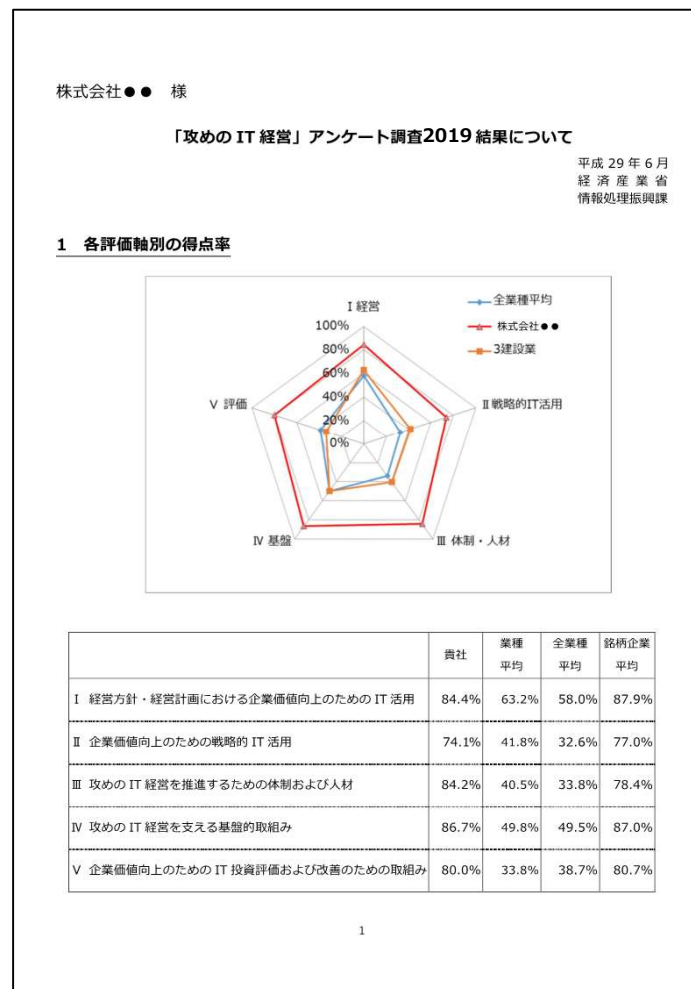
6. フィードバックの内容について

アンケートにご回答いただいた全社にフィードバックを予定しております。

内容（予定）

- 各評価軸別の得点率
- 各評価軸の全業種平均・所属業種平均・銘柄企業平均との比較
- 各選択式項目における全体の傾向 等

フィードバックレポートイメージ



7. アンケート内の用語について

アンケート内の用語は以下のとおりです。

デジタルトランス フォーメーション (DX)	企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。
デジタル技術	本調査では特に、IoT, AI, ビッグデータ, ロボット, ブロックチェーン等の新技術を想定している。

8. FAQ①

■ 自社の回答内容を保存・出力することは可能か？

- 回答終了後はできませんが、各ページの項目軸単位（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴごと）に保存・出力が可能です。必用に応じて項目軸ごとの回答一覧が表示されたページの出力をお願いいたします。

■ 回答終了後に自社の回答データを修正することは可能か？

- アンケート実施期間内（1月18日18:00まで）は承ります。WEBサイト上では修正ができかねるため、事務局メールアドレス宛に、ID/PWおよび修正箇所をご連絡ください。

■ すべての質問に必ず回答する必要があるのか？

- 該当しない場合は回答いただかなくても結構ですが、「攻めのIT経営銘柄2019」選定のスコアリングにおいては不利になります。

■ 回答した内容は外部に公表されることがあるのか？

- ご回答いただいた内容については秘密を厳守します。
- ただし「攻めのIT経営銘柄2019」「IT経営注目企業2019」「DXグランプリ（仮称）」等の公表において、その取組内容等を中心に公表させていただく可能性がございます。公表の前に、必ず内容について確認のうえ公表させていただきますので、窓口の方のご連絡先を間違いなくご記入ください。
- アンケートに回答いただいた企業名については、原則公開させていただく予定です（2019年4月中旬以降、経済産業省WEBサイトでの公表を予定）。公表を希望されない場合は、事務局までその旨をご一報ください。

8. FAQ②

■ アンケートの選択式項目の配点は教えてもらえるのか？

- 配点は非公開となります。また同様にROEの加点も非公開となります。ご了承ください。

■ 記述式回答は必ず回答しなければならないか？

- 該当する取組を実施されていない場合はアップロードしていただくだけでも構いませんが、「攻めのIT経営 銘柄2019」等の選定においては不利となります。多くの取組を紹介していきたいと思っておりますので、是非ご回答をお願いいたします。

■ 企業価値向上のための取組（記述回答）の内容は、昨年と同じ取組でも良いか？

- 貴社にとって重要な取組であったり、他に新たな取組が無いようでしたらかまいません。ただし、過年度の取組から進展した点やそれに続く新たな挑戦などが評価のポイントとなりますので、その点をぜひ詳しくご記入ください。

■ 企業価値向上のための取組（記述回答）の内容は、グループ会社の取組でも良いか？

- その取組がグループ全体の企業価値向上に寄与するものであれば構いません。

■ 本調査は法律等に基づく回答義務があるのか？

- あくまでも調査へのご協力という形をお願いするものであり、義務ではございません。